

甲佐町議会だより



清

流

第122号

平成19年8月1日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 中村幸男

6月定例会



あゆまつり 大きく育て 甲佐っ子 (鮎の放流)

- 町長の行政報告・条例案件等②～③
- 論点 Q & A そこが知りたい④～⑤
- 一般質問2人 ここが聞きたい⑥～⑦
- 傍聴席から一言⑧

6月定例会

『甲佐小学校校舎・体育館の改築』により 宮内小学校を統合する方針

6月定例会は、18日開会、19日まで2日間の審議が行われました。
 案件は、専決処分報告及び承認が3件、条例案件が3件、報告案件5件、補正予算の1件の提出案件がそれぞれ上程され、慎重審議の結果、全て原案どおり可決されました。また監査委員の同意案件が追加提案され全会一致で可決されました。
 なお、一般質問には、2人の議員が登壇、町政全般にわたり質問しました。

町長の行政報告

○小学校施設耐震診断の結果報告

平成18年度において、各小学校施設の耐震診断調査の結果は、

甲佐小学校の校舎・体育館は改築が必要
 宮内小学校の体育館は補強が必要
 竜野小学校・白旗小学校・宮内小学校の校舎は補強及び改修の必要なし。

甲佐小学校の校舎・体育館は早急に改築が必要と判断、校舎を本年度設計、20年度改築、体育館を20年度設計、21年度改

築の方針。財政的に最も有利な方法として、宮内小学校を統合することにより、過疎債を使用することとなり、実質町負担額で、約5億円程度の節減が見込まれる。宮内小学校は、児童数が極めて少

なく、今後も更に減少が予測される。これを機会に甲佐小学校と統合する方針で、地域の方々のご理解を得ながら統合を進めていく。

○その他、仁田子畜舎の火災について、2月27日に発生した上早川の畜舎火災のその後の対応状況について、甲佐町協働のまちづくり推進計画の策定について、甲佐町行政改革実施プログラムの一部変更について（緑川保育所を平成21年度を目標に民営化を進めること等）の行政報告がなされた。

○甲佐中学校施設等の整備に係るPFI導入可能性調査の結果報告

可能性調査を委託した財団法人日本経済研究所の結果は、効果額として従来方式に比べ、約1億2千万円の削減効果がある。今後は、本年度耐力調査を実施し、財政状況を考慮し、実施の時期及び従来方式かPFI方式かを議会とも相談し決

○宮本町長は、体調不良であるとのことで、8月19日投票の次期町長選挙には、出馬しないことの報告をされた。



改築される甲佐小学校校舎



乳幼児の病院窓口無料化へ

条例の一部改正

○甲佐町乳幼児医療費助成に関する条例

甲佐町内の保険医療機関にかぎり、平成19年7月1日から乳幼児医療費を現物給付できるように改正。

※対象者は、甲佐町国民健康保険・政府管掌健康保険・防衛省共済組合各支部の保険に加入している乳幼児で、町内医療機

関に限り窓口での支払いが一部不要となる窓口負担無料化が実施される。

○甲佐町重度心身障害者医療費助成に関する条例

福祉サービス等の支給認定や給付等の実施主体となる市町村を明確にするため、及び療養介護医療受給者間の負担の公平性を図る必要があるため

○甲佐町中小企業店舗の新築・改装の融資金利子補給に関する条例

この条例の適用を受けられる新築又は改装の期間を2年間延長する改正。

補正予算

○一般会計

5972万円を追加し、総額46億5908万円とするもので、全会一致で可決しました。その主なものは次の通りです。

- ① 衛生費において、集落排水路整備費として、86万円。
- ② 消防費において、浅井消防詰所移転費として、875万円。
- ③ 教育費において、甲佐小学校校舎改築工事の設計委託料及び地質調査委託料として、3010万円、甲佐中学校校舎及び体育館の耐力度調査費として、2000万円。



報告案件

○平成18年度甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

① 総務費で、住宅開発等支援事業の1240万円。

② 教育費で耐震診断委託料の882万円。

③ 災害復旧費で、治山施設災害復旧工事の500万円。

○平成18年度甲佐町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

① 介護保険法改正システム改修委託料の399万円。

○平成18年度水道事業会計繰越計算書の報告

① 日和瀬橋架け替え工事に伴う寒野地区配水管移設工事の420万円。

○甲佐町土地開発公社の経営状況報告

① 地方自治法による報告。

○甲佐町国民保護計画の報告

① 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律による報告

陳情

○「農免農道延長早期実現期成会」の船津、金森博さん他3名から提出された農免農道を延長することの陳情は、産業厚生常任委員会に付託され、閉会中の継続審議となった。

山口照雄議員の辞職許可

6月19日、山口照雄議員から6月19日をもって、甲佐町議会議員を辞する旨の辞職願が議長に提出され、同日、本会議において、辞職を許可することが議決された。

専決処分の報告及び承認

○甲佐町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に

に伴い、平成19年3月30日に専決処分。

○甲佐町国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正に伴い、世帯主及びその世帯に属する国民健康保険の被保険者につき算定した所得割額及び資産割額並びに被保険者均等割額及び世帯別平等割額の合算額の最高限度額が53万円から56万円に引き上げられた。

○平成18年度甲佐町一般会計補正予算

平成18年度甲佐町一般会計の最終補正予算で、1100万円を減額し、総額の4億1993万円となった。土木費において、町道中横田・鶴線の道路改良工事の用地買収で、交渉が妥結しなかったため。



一般質問 と答弁



ここが 聞きたい

北畑 常博 議員

国民健康保険の基金の積み立ての考え方は
国保被保険者のための基金

北畑常博議員

甲佐町みたいに福祉が進んでいる町村はないということであったが、保険の積み立ては、インフルエンザだけのためなのか。

住民生活課長

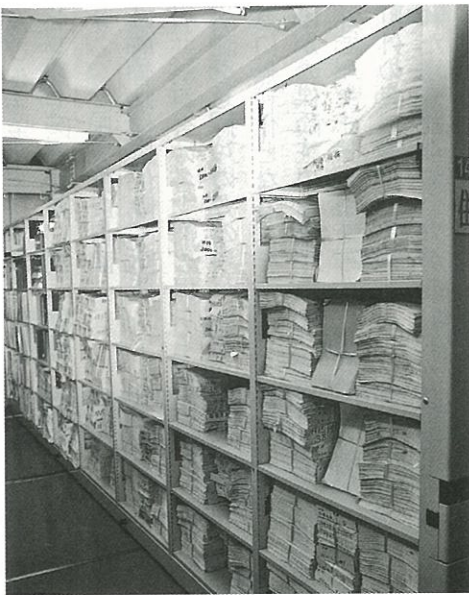
国保の基金は、国保の被保険者のためにあるもので、一般の町の財政調整基金とは運用が異なってくる。

今後は、医療費の増加

が非常に見込まれるわけで、18年度も17年度に比べ、約1億円医療費が増加している。

北畑常博議員

保険の積み立ては、もしものことがあった時のための積み立てだから、これだけ医療費が上がってきているので、基金は準備しているというようなことを明確に、公報等に載せてもらうようお願いする。



役場書庫の大量のレセプト



甲佐のニラのブランド化は

甲佐町のブランドを作っては
新たな産業興しは、町の課題

北畑常博議員

甲佐町は、農業の町と今まで売り出してきた町である。有機栽培を生かし、また専業農家を育て、甲佐町のブランドを作って頂きたい。それには、町の協力、指導力が必要だ。

町長

農業、工業、商業を中心に、新たな産業興しは、町の課題である。本町の

土地や水、緑川や清正公山等の山、やなやグラウンドゴルフ場等の観光施設を核として、新たな産業興しについては、常に課題を掲げ取り組んでいるが、なかなか有効打がないことも事実である。

甲佐農業について、たとえば甲佐のニラは、福岡の市場でもなかなか評判である。作付けを拡大し、生産量を増やして、市場出荷への安定を増す

ことで、産地化となり、価格も安定する見込みであるので、近々、土壌分析に対する町からの助成、土作りの推進に合せて、ニラの面積拡大や収量を上げることに取り組むたい。

北畑常博議員

農業をするために、甲佐町の品物のブランド化、米、麦、野菜、花というようなことを打ち出して、甲佐町の品物はこういうものですと。千円の品物でも、2千円に人が値を付けてやるような品物を作り、供給をインターネットでもできるようなシステムを作るようなことを、町が、町づくりとしてやっていけば、必ず若い人たちも残ってくると思う。



井 芹 しま子 議員

高齢者福祉の充実について

デマンド型乗合タクシーの導入を調査を進め検討する

井芹しま子議員

一人暮らしや高齢者世帯にとって、病院通いや買い物での交通手段は深刻な問題だ。タクシー利用などに比べ、低料金で活用できる「デマンド型乗合タクシー」の導入はできないか。

町長

デマンド型乗合タクシーとは、特に運転免許を取得していない高齢者に対しての交通手段として、取り組んでいる自治体もある。利用者の家から目的地までの送迎や、公共交通機関までのもの



福島県小高町商工会運営のデマンド型乗合タクシー

や、利用者を登録しての実施、利用者の限定をしないものなど、内容は様々だ。ますます高齢化が進む中、大変貴重な提案であり、今後、事業の形態、実施場所、運行回数、利用対象者などについて、調査を進め、検討をしていきたい。

介護保険料・利用料の減免措置の実現を国の制度改正に向けて、地方の意見を働きかける

井芹しま子議員

高齢者の介護保険料・利用料引下げへの要望は切実で非常に強い。特に利用料については、所得のあるなしに関わらず一割負担であり、低所得者にとっては重い負担だ。結果、介護サービスを受けたり、サービスが受けられないという状況も出ており、減免措置は必要だ。再度検討を求めます。

町長

趣旨はよく理解している。しかし、町単独での減免は、一般財源で補われなければならず、厳しい財政運営状況が続く中、この問題については、国の制度改正に向けて、地方からの意見が反映されるよう、機会あるごとに働きかけていきたい。

原則として、一般入札制度の導入を契約や金額によって、一般競争入札を検討する

井芹しま子議員

公共事業での入札に関わる様々な不祥事が続いている。その温床となっている指名競争入札を止めて、競争性の働く公正な入札に向けて、改善をすべきだ。地元業者の方への配慮など一定の条件をつけて一般競争入札の導入を図るべきではないか。

町長

地方自治法上、原則として一般競争入札となっている。今後、本町においても、契約の種類や金額によって、一般競争入札を検討していく。



同和問題・上早川・仁田子豚舎の管理状況と今後について設置者として、町の管理を強化していく

井芹しま子議員

同和对策事業として建設された、上早川・仁田子の豚舎で相次いで火災が発生した。上早川の豚舎については、廃材等が運び込まれているなど、同和对策事業の施設の目的外使用が行われており、さまざまな町の管理状況が問われている。これまでの管理状況、責任問題は

どうなるのか。

産業振興課長

設置者は町であり、施設等、物も町の施設であり、管理責任は町にある。今後、管理強化を図っていく。



仁田子豚舎

他に、国保税の引下げについて、ここ十年間に基金残高が膨らんでおり、基金を取り崩して、基金の切実な国保税の引下げをすべきだとの質問が行われた。それに対して、町長は今後十分に検討していくと答弁。また、議員の町税滞納問題について、その進捗状況について質問があり、町長は議員も法に則って対応を進めていると答弁。

傍聴者から一言

「議会傍聴をしての感想」

岩下 古田 幸子
(むつみ会員)

私たち「むつみ会」は元婦人会員の仲よし組で
ございます。数年前から議会傍聴をしています。
立派な議会棟での議会を三回ほど傍聴しましたの
でその感想をありのままを述べてみます。

先ず、高齢者使用のシルバーカーで玄関を入っ
てエレベーターを使って議場まで。通路は左右に
手すりがついて心配り(こころくばり)が満点で
す。それにも増して議場内の立派さには驚きます。
さて議会始めのブザーの音、議員席、役場課長
席には、ちゃんと女性の姿が見えます。

私たちは女性として待ちに待った姿です。
傍聴席から、今日の議会は、どんな事が話し合
われるのか、耳を澄まして聞いています。

この立派な議場で、甲佐町が住みよい町になる
よう、大いに議論を出し合って、目的の一つ、山
紫水明の甲佐町をお願いします。



福岡県香春町の

広報特別委員会来町

7月10日に、福岡県香春町の広報特別委員会委員
4人が本議会広報編集特別委員会に研修視察に来町
されました。

研修は、甲佐町から、委員会の構成、選出方法、
発行までの作業の流れ、一般質問の執筆者などの多
くの広報編集に係る内容の説明がなされ、その後香
春町からの質疑がありました。特に紙面の構成、レ
イアウト、校正について質疑が集中しました。

本町広報委員
会も、3人が新
しい委員となり、
逆に香春町の編
集等について学
ぶ点も多く見受
けられました。

今後もこのよ
うな研修等を活
かし、町民の
方々に分かりや
すい、読みやす
い議会広報づく
りを目指してい
きます。



香春町の広報研修風景

人事案件

○甲佐町監査委員の選任同意

現委員福永和彦氏の任期満了に伴い、新たに
委員として甲佐町緑町の渡辺健一郎氏が選任さ
れ、全会一致で同意されました。



渡辺健一郎氏

略歴
日本大学法学部卒
元熊本県警本部交通部次席

編集後記

先日、鹿児島県蒲生町
議会に広報委員会の研修
に行きました。そこで、

広報以外の事で、考えさ
せられることがあります。
それは、蒲生町を含
め始良郡内3町の合併の
話です。
数年前の合併話が、意
見の食い違いにより、破
談となりましたが、その
後各町の有権者が合併を
主張する町長を選んだこ
とにより、再度合併気運
が高まり、合併協議が進
んでいるとのことでした。
新しい町長に何を望む
か、町民の意識、意思が
反映される選挙が、わが
町でも8月に行われるよ
う願うものです。

議会広報編集委員会

- 委員長 本田 新
- 副委員長 本郷 昭宣
- 委員 宮川 安明
- 井岸しま子